

季刊
7月・8月・9月

博物館だより

121

FUKUSHIMA
PREFECTURAL
MUSEUM QUARTERLY

URL <http://www.general-museum.fks.ed.jp>

夏の特集展
南極の自然と南極観測
福島県立博物館



南極の自然と南極観測

平成28年

7月16日(土)～8月21日(日)



ブライド湾の棚氷

写真提供：国立極地研究所

夏には南極！

暑い夏に極寒の南極を体験してみませんか。本物の南極の氷にさわることができません。夏には日本と季節が反対の真冬の南極観測隊に思いをはせることができるのではないのでしょうか。

元南極観測隊員で、地理学者の小元久仁夫氏(南相馬市出身、元日本大学教授)から様々な南極関連の資料が当館に寄託されています。これらの資料を中心として、幅広く「南極」を紹介する展覧会です。ペンギンをはじめとする生き物、氷河やオーロラ、南極の岩石や化石など南極に特有の自然ばかりでなく、寒冷な南極で観測をするための装備など人間との関わりなどについても展示紹介する予定です。

地球温暖化と南極の氷の増減が話題となっている今、南極の真の姿に一步近づいてみませんか。

◇展示構成

(1) 南極の地学

【展示内容】南極の地史(パネル)、岩石、鉱物、化石、風食岩、氷河擦痕など

(2) 南極の生物

【展示内容】アザラシ、ペンギン、魚類、無脊椎動物、藻類、蘚苔類など

(3) 南極の水と大気

【展示内容】南極の気象、南極の氷・水など

(4) 南極から宇宙を探る

【展示内容】オーロラ(写真・パネル)、隕石など

(5) 観測隊の活動

【展示内容】観測機材、生活用具など



緑色のオーロラ

写真提供：国立極地研究所



南極観測船ふじ

写真提供：小元久仁夫

(6) ハンズオンコーナー

【展示内容】南極の氷

◇ 関連イベント

■ 記念講演会

「南極観測と基地生活の思い出」(申込不要、無料)

日時 8月7日(日) 13時30分～14時30分

講師 小元久仁夫氏(元南極観測隊員・元日本大学教授)

場所 講堂

■ 映画会(申込不要、無料)

「大いなる南極大陸」

日時 7月31日(日) 13時30分～14時30分

場所 講堂

「南極大陸の新たな幕開け」

「白い大陸からのメッセージ」

日時 8月13日(土) 13時30分～14時30分

場所 講堂

■ 展示解説会(常設展料金が必要)

① 日時 8月7日(日) 15時～16時

講師 小元久仁夫氏

場所 企画展示室

② 日時 7月23日(土)、7月30日(土)、8月14日(日)

いずれも13時30分～14時30分

講師 学芸員

場所 企画展示室

■ アクアマリンふくしま移動水族館 アクアラバン展示

(申込不要、無料)

水族館アクアマリンからの生きた魚などの展示

日時 8月21日(日) 11時～15時

場所 当館正面前庭

開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日 7月19日(火)、7月25日(月)、8月1日(月)、8月8日(月)、8月12日(金)

会場 福島県立博物館企画展示室

観覧料 常設展料金でご覧いただけます。

一般・大学生270円(210円)、高校生・中学生・小学生無料 ※()は20名以上の団体料金

主催 福島県立博物館

トト イベント

開館30周年記念企画展

「幕末！若松！喜知松？」
大須賀清光の屏風絵と番付「関連行事」

本展では、大人向け・子ども向けを織り交ぜた多彩なイベントを開催しました。また最大の目玉である記念講演会は、学習院女子大学の岩淵令治先生に「江戸城登城風景図屏風をよみとくー江戸の名所『下馬先』とは何かー」と題して企画展最終日（6月12日（日））にご講演頂く予定です。本号での紹介が間に合わないのが残念ですが、清光が描いた、会津藩の江戸の上屋敷と接する江戸屈指の名所『下馬先』について、専門的な見地からお話を頂く貴重な機会となります。

●展示解説会

4月23日（土）、5月15日（日）
5月28日（土）、6月11日（土）

講師：学芸員

阿部綾子

四回の展示解説会では、清光の代表作である一連の若松城下絵図を中心に解説を行いました。本展は県内初公開作品を含む三点の若松城下



展示解説会

絵図（一点は掛軸、二点は屏風）を一堂にご覧頂く機会となりましたが、これら三作品について、描かれた時期や目的、内容の違いを、詳しくお伝えしました。参加者からのご質問も多く、関心の高さがうかがえました。

●子ども向けイベント

①「めざせ江戸！清光の絵で道中すごろく」

5月3日（火・祝）

②「みんなで仕上げる清光作品 若松城下

ドリムプラン」 5月4日（水・祝）

講師：学芸員 阿部綾子（①②とも）

子ども向けイベントは、ゴールデンウィークにあわせ、二回開催しました。①は、清光が出版した若松城下から江戸までの道中案内図「江戸街道三十七次」をすごろくに仕立てて遊ぶイベントです。清光が描いた人物画を駒に、誰が一番早く江戸に到着できるかを競



▲道中すごろく

若松城下ドリムプラン▼



います。江戸までのルートを学びながら、真剣にサイコロを振り、一喜一憂するお子さんの姿が印象的でした。②では、清光が描いた若松城下の挿絵を大きく引き延ばし、水彩クレヨンで自由に色を付けました。テーマを決めて家族単位でご参加頂き、個性ある作品が誕生しました。仕上がった作品は、会期中エントランスホールに展示させて頂きました。

●大人向けイベント

①「江戸の番付で良妻チェック」

5月15日（日）

②「清光の挿絵で読む！メイドイン会津の

教訓書」 5月28日（土）

講師：学芸員 阿部綾子（①②とも）

大人向けイベントは、参加型（①）と聴講型（②）の二つを開催しました。①は、清光と同時代の良妻・悪妻番付を素材に、自分や身近な人を採点してもらおう内容です。世代によって得点に差が出る傾向があり、面白い発見となりました。②は、会津藩医・石田龍玄が著した教訓書を読む講座です。清光が描いた26枚の挿絵をスライドしながら内容をご紹介します。龍玄は日下義雄（福島県知事）や石田和助（白虎隊士）の父でもあります。福島県知事や白虎隊士を育てたであろう清光の挿絵は分かりやすく、復刻版を望む声もきかれました。

第1回テーマ：「博物館設立の経緯と考え方を聴く」

ゲスト：鈴木啓氏（福島県立博物館初代学芸課長）

平成28年4月21日（木） 当館講堂

今年度の館長講座（毎月一回）は、福島県立博物館の将来の姿について、赤坂憲雄館長とともに語り合おうという趣旨で行われています。第一回は、当館の初代学芸課長を務めた鈴木啓氏をゲストにお招きして、博物館の開館当初のようすや、常設展のコンセプトなど設立時の基本的な考え方を、あらためてお聞きし、そこから学ぶ機会としました。

今から30年前、昭和61年10月18日に当館は開館しました。今年は、ちょうど30周年の節目の年に当たっています。開館のための準備は、さらに10年近く前から始められており、組織や建物、展示の内容などが順次つくられてゆきました。

鈴木氏による講演「ふくしまの歴史上果たした役割と特色」によると、常設展では、ふくしまの役割として、①関東・東北・北陸の接点にあつて、周辺文化を融合した、②歴史の転換期には、必ず中央舞台上に登場し主演した、③各時代を通じ、中央の繁栄のため資源

を供給した、という三点を、とくに伝えたかったのだそうです。あらためて当館の常設展（総合展示室）を歩いてみると、各展示室のコーナーや展示物に、たしかにメッセージがちりばめられていることがわかります。

講演の後の対談の中で、準備段階では、県内の文化施設として先行例がないのに苦勞し、通史を志向しながらも福島県の三地域のちがいを考慮してテーマを立てたこと、それ以前の高校教員としての経験、とくに生徒からの質問をもとにしたメモが大いに役立ったこと、解説が多すぎても観覧者は読まないの

で、どうしたらよいかいろいろ考えたことなどを、鈴木氏は語ってくださいました。館長からは、設立当初に想定していたのとは少し異なることが、近年では博物館に要請されるようになってい

るが、施設や体制の面で十分に対応できない現状がある。このような点をひとつひとつ確認しながら新しい博物館につなげてゆきたいという発言がありました。

会場の参加者からは、子どもたちがもっと利用しやすい博物館、県内各地の語り部たち

が集まる催しのできる博物館、解説員が来館者と展示資料をつなぐ役割を果たす博物館など、具体的な意見が出されました。最後に鈴木氏より、長く福島県の文化財行政を牽引してきた立場から、今こそ原点にもどって文化財の保存と活用の新しい方法を博物館は考えるべきというアドバイスをいただきました。

館長と学芸員だけで博物館の将来を語る時代ではありません。今年度の館長講座は、館外から広く御意見をいただくための場になります。毎回異なるテーマを設定し、ゲストや会場の皆さまから、さまざまな御意見をいただきたいと思います。ぜひご参加ください。

が集まる催しのできる博物館、解説員が来館者と展示資料をつなぐ役割を果たす博物館など、具体的な意見が出されました。最後に鈴木氏より、長く福島県の文化財行政を牽引してきた立場から、今こそ原点にもどって文化財の保存と活用の新しい方法を博物館は考えるべきというアドバイスをいただきました。



けんぱく暗闇探検隊

〜もつひとつのナイトミュージアム〜

毎年夏に好評をいただいている「夏休みナイトミュージアム」を、開館30周年の今年はヴァージョンアップしてお届けします。8月の「夏休みナイトミュージアム」は例年通り行いますが、ナイトミュージアム別ヴァージョンを「けんぱく暗闇探検隊」として四回実



ナイトミュージアム

施します。真っ暗な展示室の中、懐中電灯の明かりを頼りに館内オリエンテーリングを行います。日ごろの明るい展示室では気付かなかったいろいろなことが発見できるはずです。懐中電灯の明かりに照らされた展示資料の新たな顔を発見してみましょう。

◆日時 第1回 5月7日(土)(終了)

第2回 7月2日(土)

第3回 9月3日(土)

第4回 11月5日(土)

※各回とも17時30分〜19時

◆募集人数 各回40名(年齢制限なし 小学

生以下は保護者同伴)

※申込方法など行事に関する詳しい内容は、当館HPやチラシをご確認ください。

のぞいてみよう!けんぱくの裏側

みなさんに展示や講座などを楽しんでいただいている福島県立博物館には秘密がいっぱい詰まっています。実習室の前にある「関係者以外立ち入り禁止」の扉の向こう側には、どんな世界が広がっているのでしょうか。

日ごろ入ることができない博物館の管理棟を探検しながら、博物館の役割について考えてみます。博物館の裏側には、わくわくがいっぱいです。収蔵庫の中では、あんなもの、



けんぱくの裏側

こんなものにもさわることができません。え、本当にさわっていいの? さっそく、けんぱく探検に出発しましょう!!

◆日時 第1回 4月16日(土)(終了)

第2回 6月18日(土)

第3回 8月20日(土)

第4回 10月22日(土)

※各回とも14時〜15時

◆募集人数 各回20名(年齢制限なし 小学

生以下は保護者同伴)

※申込方法など行事に関する詳しい内容は、当館HPやチラシをご確認ください。

秋の特別展

「新たな国民のたから—文化庁購入文化財展—」

文化庁は国宝・重要文化財の指定をはじめ、文化財の保存と活用に関する様々な事業を行っています。その中に、貴重な国民の「たからもの」である文化財が散逸したり、海外に流出したりすることを防ぐため、国が文化財を購入する事業があります。これによりこれまで多くの文化財が国の所有するところとなり、国立博物館や各地の博物館での展覧会で活用されています。

このたび福島県立博物館にて、近年国が購入した作品の一部やこれまでに国が購入し所蔵する文化財を皆様にご覧いただくことといたしました。普段なかなか目にする機会のない価値ある文化財がそろっています。この機会に「新たな国民のたから」をお楽しみください。

会期：平成28年9月3日（土）～10月2日（日）



重要文化財 太刀 銘守次 革包太刀拵

秋の特集展 予告

開館30周年記念特集展

「収蔵庫からこんにちは」

〜福島県立博物館収蔵名品展〜

博物館には県内各地から集められた膨大な数の資料が保管されていることをご存知でしょうか。普段ご覧いただけますが、博物館の裏側にある収蔵庫には約十一万点もの資料がその出番を待っています。

この展覧会では県立博物館の開館30周年を記念して、学芸員が収蔵庫で選んだとっておきの名品を考古・歴史・民俗・美術・自然・保存科学・震災遺産などの各分野からご紹介します。博物館を支える調査研究の仕事や、東日本大震災の記録・記憶を未来に伝える取り組み、そして開館からこれまでの博物館のあゆみなど、当館が30年にわたって積み重ねてきた活動の成果をぜひご覧ください。

■会期

平成28年

10月15日（土）

11月27日（日）



福島県立博物館収蔵庫の様子

特集展

企画展示室
常設展示料金

南極の自然と南極観測

7月16日(土)
～8月21日(日)

【関連イベント】

■記念講演会(申込不要、無料、講堂)
「南極観測と基地生活の思い出」
8月7日(日) 13時30分～14時30分
講師 小元久仁夫氏(元南極観測隊員、元日本大学教授)

■映画会(申込不要、無料、講堂)
「大いなる南極大陸」
7月31日(日) 13時30分～14時30分

「南極大陸の新たな幕開け」
「白い大陸からのメッセージ」
8月13日(土) 13時30分～14時30分

■移動水族館アクアラバン(申込不要、無料、前庭)
8月21日(日) 11時～15時

■展示解説会(申込不要、要常設展示料金)
①8月7日(日) 15時～16時
講師 小元久仁夫氏

②7月23日(土)、7月30日(土)、
8月14日(日)
いずれも13時30分～14時30分
講師 学芸員

特別展

企画展示室
常設展示料金

新たな国民のたから

文化庁購入文化財展

9月3日(土)
～10月2日(日)

テーマ展

部門展示室
常設展示料金

けんぱくの宝1
7月5日(火)
～8月28日(日)

100年カエル館コレクション展
かえる曼陀羅
～100年カエル館から

河竹登志夫さんへのオマージュ

9月10日(土)
～11月10日(木)

ポイント展

総合・部門展示室
常設展示料金

落下傘で作った着物
6月22日(水)
～8月17日(水)

ふくしまの戦争資料
7月16日(土)
～8月21日(日)

いろいろな箕(み)集まれ!
8月19日(金)
～10月30日(水)

収蔵資料にみる戦国の群雄
9月6日(火)
～10月23日(日)

只見町野々沢の化石
9月22日(木)
～11月23日(日)

藤森武写真展 美ちのくの仙像
東北日本大震災復興祈念
～東北新聞五社事業協議会連携企画
8月30日(火)
～10月2日(日)

講座・実演

★は要申込

【館長講座】(無料、講堂)
「みんなで、明日の博物館について語ろう」
第4回 7月21日(木) 13時30分
第5回 8月18日(木) 13時30分
第6回 9月15日(木) 13時30分
講師 館長 赤坂憲雄

【考古学講座】(要申込、300円、実習室、20名)
★「縄文土器をつくらう」
①8月6日(土) 10時～15時
②8月7日(日) 10時～15時
講師 学芸員 森幸彦

※10月2日(日) 野焼き

【交流会】(注文メニュー各自負担、レストラン)
「サロンド考古学② 弥生時代」
7月9日(土) 14時～15時
「サロンド考古学③ 古墳時代」
9月10日(土) 14時～15時
講師 学芸員 荒木隆

【はにわ大王が案内するギャラリートーク】
(要常設展示料金、総合展示室)
親子で楽しむふくしまの歴史③
「古墳時代のふくしま」

8月13日(土) 14時～15時
講師 学芸員 荒木隆

【移動講座】(要申込、①②両日参加、有料)
★①「化石をさがそう」(伊達市梁川町広瀬川河床
9月18日(日) 13時30分～16時30分
★②「化石標本をつくらう」
(伊達市梁川中央交流館
9月19日(月) 9時30分～11時30分
講師 自然分野学芸員
※申込は伊達市保原歴史文化資料館
☎024-575-1615
8月18日より申込受付開始

【実技講座】
★会津・三島町の編み組み細工
「ヒロロの小物入れ作り」(要申込)
①7月9日(土) 13時～16時
②7月10日(日) 9時30分～16時
講師 三島町の伝統技術保持者

★「唐人風ってなんだ?唐人和風をつくらう!」
7月24日(日) 13時30分～16時(要申込)
講師 斎藤歩美氏(山形大学工芸研究室)
無料、実習室、親子20組

【実演】(無料、体験学習室)
「昔語り」
9月17日(土) 13時30分～15時
語り部 横山幸子氏

【けんぱく暗闇探検隊】
(要申込、無料、総合展示室、40名)
第2回 7月2日(土) 17時30分～19時
第3回 9月3日(土) 17時30分～19時
講師 学芸員

【のぞいてみよう!けんぱくの裏側】
(要申込、無料、収蔵庫など、20名)
第3回 8月20日(土) 14時～15時
講師 学芸員

【開館30周年記念イベント】
要申込

【夏休み子ども野外映画会】(前庭)
7月18日(月)・祝 19時～21時
※詳細はHP等でお知らせします
「会津磐梯山・市民盆踊り」(無料、前庭)
8月15日(月) 19時～20時30分

★夏休みナイトミュージアム
(要申込、無料、総合展示室、80名)
8月20日(土) 17時30分～20時
「ハワイアン in けんぱく」
(無料、エントランスホール)
8月27日(土) 13時30分～15時
講師 モハル・ハワイアンズ

【友の会イベント】
無料
会津室内楽団アンサンブル
「Corderannoコンサート」(講堂)
9月18日(日) 13時30分～15時
県博30周年記念イベント 県博友の会映画祭
10月1日(土)
「ナイトミュージアム」エジプト王の秘密」
10時30分～(97分)
「超高速! 参加交代」
13時30分～(119分)

★夜の行事に小学生以下が参加する場合は、保護者の同伴が必要です。
★要申込の行事は基本的に開催日の1ヶ月前から募集を開始します(異なる場合もありますのでご確認ください)。電話もしくは受付カウンターでお申込みください。
★その他、行事等の詳細に関しては、月行事予定やホームページをご覧ください。

常設展無料の日 9月19日(月) 敬老の日
7月～9月の休館日
7月4日(日)・11日(日)・19日(火)・25日(日)
7月31日(日)・8月1日(月)・12日(金)・22日(日)・29日(日)
9月5日(日)・12日(日)・20日(火)・26日(日)

【お問い合わせ先】福島県立博物館
〒965-0800 会津若松市城東町1-25
TEL 0242-28-6000 Fax 0242-28-5986
HP http://www.general-museum.fks.ed.jp/
Mail netmaster@general-museum.fks.ed.jp

